



みえたま塾 開催レポート

仕事と家庭の「両立」ととどまらず、意思決定に関わる立場で職責を担う「リーダー層」の女性を増やすことを目的に、2019年10月から3か月にわたり、みえの女性リーダー育成講座「みえたま塾」を開催しました。

開講式および公開講座

2019年10月24日(木) 10時~12時/三重県総合文化センター視聴覚室

「ダイバーシティの重要性と女性のリーダーシップ」

講師：立命館アジア太平洋大学 (APU) 学長 出口 治明さん

◆ものごとの判断は「縦・横・算数」で現状を正しく知るところから

出口さんのお話は、全てがデータやご自身の経験に基づくもので、見事に腹落ちすることばかり。その思考の大原則が「縦・横・算数」です。先人の歩んだ歴史（縦思想）と日本だけではなく海外にも視野を広げること（横思想）の必要性など、思わず書き留めておきたくなる語録が沢山！人類はホモサピエンスの時代から集団保育をしており、子どもは母親が育てるべきという「3歳児神話」は、戦後の製造業モデルを浸透させるための刷り込みが原因との指摘もありました。なかでも印象的だったのが、「意識を変えるより仕組みを変えることが先決」とのお話で、海外で取り入れられている「クォータ制」の意義などもよく理解できました。



◆新しい産業を生み出すキーワードは「女性」「ダイバーシティ」「人・本・旅」



「今のマーケットを牽引しているのは女性なので、供給側でも女性に頑張ってもらわないといけない」との言葉に、女性の活躍は男女平等の観点だけではなく、市場が求めているものなのだと思えて実感。受講生もこの言葉に大きく背中を押されたようです。また「ダイバーシティ」は既存知の組み合わせであり、それぞれの距離が遠いほどイノベーションが起こりやすいそうで、「違い」を認め合う「ダイバーシティ」がなぜ必要とされているのかがよく分かりました。最後に、豊かな人生を送るためのとっておきの秘訣として「飯・風呂・寝る」ではなく「人・本・旅」を実践してほしいと締めくくられ、受講生にもしっかりインプットされたようでした。

◆質疑応答

講義のあとは、参加者との活発なディスカッションが行われました。「人・本・旅は仕事にどう結び付くか」との質問に対しては、「ここぞというアイデアは10年に1回も出れば御の字。例えばビジネスに結びつかなくても、「人・本・旅」は自分を成長させてくれる。何より自分が楽しむことを大切にしてください」とのメッセージをいただきました。また受講生に向けては、「理想のリーダー像は時代によって変わるが、これからは、さまざまなタイプの部下を掌で泳がせる「お釈迦様タイプ」が求められる」とのアドバイスがあり、今後、自身のリーダー像を明確にしていく受講生には、大いに参考になりました。





第1回講座

2019年10月24日(木) 13時30分～15時30分/三重県総合文化センターセミナー室B

●自己紹介

これからリーダーを目指す方や、既に中間管理職としての役割を担っている方など、それぞれの立場によって、「目指すべきロールモデルがない」「役職が上がるにつれ、社内にも敵が・・・」など、さまざまな発言が飛び交い、初回から大いに盛り上がりました。



●ロールモデルのミニ講演「抵抗の4つの反応スタイルと対処法」

講師：光洋メタルテック株式会社 人事部多様性推進グループ
グループ長 横関 美香さん

「チャレンジャーズ・アワード2018」オーディエンス賞受賞



◆ブレない自分をもつ



派遣社員からスタートし、経営陣を巻き込みながら会社の改革に着手した経験から、実践に即したアドバイスをいただきました。女性は協調性を重んじる傾向があるため、いざ変革しようとしても、対立する人が現れると言いたいことが言えず辻褄があわなくなることがあるそう。そのため、行動を起こすときは目標をしっかりと定め、ブレない自分を持つことが必要とお話に、受講生は真剣に耳を傾けていました。

◆信念のある人にフォロワーがつく

横関さんの夢は、おばあちゃんになったときに縁側で美味しいお茶を飲むこと。そのためには、周りの人が幸せで平和な国でなければならない。その思いがブレない活動の原動力になっています。リーダーにはフォロワーが必要ですが、フォロワーは一貫した主義主張のある人につくため、自分なりに腹落ちしたブレない信念を見つけてほしいとのメッセージは、受講生の心に深く届いたようでした。

●グループワーク「目指すリーダー像について」

ミニ講演の後は、受講生同士が「目指すリーダー像」についてのグループワークを行いました。コーディネーターから「リーダー像を考える前に、どんな自分になりたいか、どんな人生を送りたいかを考えるとよい」とのアドバイスがあり、世代も職種も違う受講生たちが、それぞれの人生観や仕事観を語り合いました。リーダー像に正解はありませんが、それぞれが腹落ちしたリーダー像を見つけ、次回グループワークの会社への改善提案につなげることとしました。





第2回講座

2019年11月29日(金) 13時~16時30分/三重県総合文化センターセミナー室B

●「女性力を生かしたリーダーシップ」

講師：有限会社ゼムケンサービス 代表取締役/一級建築士 籠田 順子さん

◆今後求められるのは女性視点のリーダーシップ

父が営む工務店で生まれ育った籠田さんは、「建設業には女性の視点や感性が必要」という持論のもと「五感設計」に取り組み、特許も取得。従業員は8名中7名が女性で、それぞれの働き方でスキルを発揮し、売り上げも右肩上がりだそうです。全産業で最も高齢化のすすむ建設業こそ、女性をはじめ多様な人材が活躍できるダイバーシティ経営が命題であり、これからは女性視点のリーダーシップが必要だと力強く仰っていただきました。また、女性自身も社会と繋がりをもち、貢献する喜びを知るべきとのお話に、受講生も深く頷いていました。



◆女性力はビジネスになる



これからのビジネスチャンスは「女性が知っていて男性が知らない領域」になるため、今こそ女性はビジネスでも家庭でも「女性力」を生かしていくべきとのお話に、受講生も背中を押されたようでした。建設業の受講生から「今までは男性に負けないよう、男性と同じことができないといけなかったけど、女性であることをもっと誇りに思ってもいいんだと思えました」との感想があり、籠田さんの思いがしっかり届いていました。

●ロールモデルのミニ講演「会社からの期待をチャンスに変えよう」

講師：日本土木工業株式会社 専務取締役 垣本 美和さん

「チャレンジャーズ・アワード2017」みえモデル賞受賞



◆人の役に立てる喜び



男性優位の建設業界で昇進してきた垣本さんは、ことあるごとに「社長のご親戚ですか?」と聞かれたり、「女のくせに」「だから女は」と心ない言葉をかけられたこともあったそうです。そんな垣本さんの「管理職になって本当によかったと思っている」との言葉はとても重みがありました。管理職になる大きなメリットは、決裁権をもつことで仕事をスムーズに進めることができることだといいます。実際垣本さんは、部長就任当時、社内初の女性現場監督の採用を実現、その後もさまざまな社内制度をスピーディに整えることが出来たそうです。垣本さんはこう付け加えます。「女性も力をつけるのはとてもいいこと。でもこの力は人のために使える力であってほしい」。

◆会社への提案はメリットを明らかに

2010年に三重県が導入した「男女がいきいきと働いている企業」の認証制度は、県の公共工事の入札資格の加点につながることから、経営者らに女性の活躍や働きやすい職場環境づくりに取り組んでもらうのにとってもプラスになったそう。会社に何かを提案する時は、そのメリットを伝えると同時に、会社への感謝の気持ちも忘れず伝えるようにしているそうで、今後改善提案を行う受講生にとって、とても参考になる経験談でした。また最後にこんなメッセージも。「会社からの期待は、是非自分に与えられたチャンスだと考えてほしい。大変なこともあるけれど、乗り越えた時にはきっとワクワクするような出来事が待っています!」。

●グループワーク「会社への改善提案」

会社の抱える課題とその改善提案について、グループワークを行いました。コーディネーターからは、提案には会社のメリットとともに経費も明記すること、一方的な提案とならないよう上司の意向も確認しながら進めること等のアドバイスがありました。いよいよ次回第3回講座では、各自が改善提案の模擬プレゼンを行います!





第3回講座

2019年12月11日(水) 13時~16時30分/三重県総合文化センター中会議室

●「知事のリーダーシップ論」

講師：三重県知事 鈴木 英敬

◆リーダーはリーダーにしかできない仕事をする

知事は自分の役割を「決めること」と「説明すること」の二つだと考えているそうです。県の行う施策について、県民の皆さんに説明をするのは自分の仕事なので、記者会見を沢山開き、取材も積極的に受けているとのこと。言い換えれば他の仕事は全て任せ、リーダーの仕事の質が落ちないようにしているそうです。自分の役割を決めることも、リーダーの大切な仕事なのです。



◆自分のものさしを持つ

知事の判断基準の一つが現場に足を運ぶことであり、ほぼ毎日現場を訪ねているそうです。他にも、移動時間はスカイプで打ち合わせをするなど隙間時間は徹底的に活用することや、必ず6時間の睡眠を確保することなど、仕事のパフォーマンスを上げるために必要なマイルールを定めているとのことでした。また、リーダーになる人は厳しいことを言ってくれる人を大切にされた方がよいとのアドバイスもあり、「自分のものさしで、自分らしいリーダーシップを発揮してほしい」と力強いメッセージが送られました。



●「キャリアアップの楽しさを知り、組織の中でなりたい自分をデザインする」

講師：アルファ・アソシエイツ株式会社 代表取締役社長 藤原 美喜子さん

◆2兎ではなく3兎を追いなさい！

みえたま塾最後の締めくくりは、長年女性のキャリア開発に携わられている藤原さんの講義でした。40代頃から男性と女性で大きなキャリアの差が開くのは、経験の差にほかならず、学ぶ機会に恵まれていない女性こそ研修が必要だと話されました。藤原さんは女性に「欲張りなさい」と伝えているそうです。「チャンスがあれば結婚し、生みたかったら子どもを生めばいい。でもそのためにキャリアアップを諦めてはいけません」との言葉は、受講生の背中を強く押してくれました。



◆立派な上司になるには、立派な部下になる

時間や締切りを守るだけでなく、上司がチームとして仕事をしやすいように配慮するのも組織のルールであり、立派な上司になるには、日頃から上司とのコミュニケーションを心がけ、立派な部下になることが必要だと話されました。

◆上司になるための条件は「覚悟」

藤原さんの研修を受講する女性の半数以上が、「経験が足りない」等の理由で昇進することに否定的だといいます。しかし「上司の経験と能力は上司の椅子に座ってみないと身につかない」と藤原さんは言います。「経験を積んでからではなく、まずは経験を試みるのが大切」との藤原さんの言葉を、受講生もしかと受け止めていました。

●グループワーク「模擬プレゼン」

会社の課題解決に向けた改善提案について、一人2分間ずつ模擬プレゼンを行いました。藤原さんからは「問題発見能力がとても高い」「プレゼンスキルにもっと自信をもってほしい」などのお褒めの言葉をいただき、受講生のモチベーションも上がったようです。コーディネーターからは、改善に費やす時間もコスト換算することや、メリットを数値化すると会社も判断しやすい等のアドバイスがありました。1月30日には、いよいよ代表4名が成果発表を行います。





みえの輝く女子フォーラム2020

2020年1月30日(木) 13時～16時/三重県総合文化センター多目的ホール

●基調講演「グローバル社会における日本の潜在力～女性の活躍でピンチをチャンスに～」

講師：OECD東京センター所長 村上 由美子さん

前半の基調講演では、村上さんよりOECDの扱う数々のデータをもとに、日本の持つ潜在力についてお話しいただきました。他国に先駆けた超高齢化や人口減による人材不足は、新たなビジネスチャンスを生み出すための大きな勝機となるそうです。日本に足りないのは「つながる力」で、女性をはじめさまざまな背景を持つ人々のアイデアを尊重し、イノベーションが生まれやすい環境を作る必要があるとのこと。また日本の成人の学力は男女ともにOECD加盟国中1位だそうで、日本の女性が男性と同程度働けば、日本のGDPは2倍になるとの試算も。受講生にとっても、改めて自分たちの潜在力を実感する機会となったようです。



●みえの女性リーダー育成講座「みえたま塾」成果発表

3回の講座を通して、会社への改善提案を作り上げた受講生たち。この日は代表4名が上司の方と登壇しました。

①エイベックス株式会社 総務経理部門 出口 さくらさん

■提案事項「新入社員の早期離職率低減」

■生駒執行役員からのコメント

- ・従業員は最も大切な資産であり、是非この提案を一緒に実現させたい。今後もこの持ち前のエネルギーを仲間や会社、地域のために発揮してもらいたい。



②株式会社菜友 スクールランチ事業部 神谷 愛未さん

■提案事項「インフルエンザ予防接種費用の補助導入」

■長瀬マネージャーからのコメント

- ・彼女が自分の目指すリーダー像に向かっていく姿勢は、他の社員にもいい刺激になっており、ゆくゆくは次期リーダーを育成する側にもなってほしい。

③三重いすゞ自動車株式会社 サービス部サービス課 清水 啓子さん

■提案事項「女性整備士の採用」

■川口課長からのコメント

- ・整備士不足は深刻な問題であり、是非実現できるよう、彼女と一緒に会社に働きかけていきたい。彼女には自分を超越する攻めの姿勢で頑張してほしい。



④株式会社リョーケン 建設事業部業務管理課 中根 真咲子さん

■提案事項「業務の見える化」

■加藤代表からのコメント

- ・受講後、これまで以上にコミュニケーション能力が上がり、他部署との連携もスムーズになっている。このような機会をいただけて本当にありがたかった。

●閉講式

受講生を代表し、日本土木工業株式会社の伊藤 順子さんが知事から修了証を受領しました。最後に知事より「ポジションに関わらず、チームを、会社を、地域を良くしようという責任感のある人は、誰でもリーダーになる資格がある。受講生の皆さんにもそうあってほしい。上司や経営者の皆さんは、そんな彼女らの挑戦をこれからも温かく見守ってやってほしい」とエールを送りました。受講生の今後の活躍がとても楽しみです。





みえたま塾

受講生紹介



伊藤 順子さん

■所属

日本土木工業株式会社
工事部 技術者

■みえたま塾に参加して

女性がどれだけ秘めた力を持っているか気づかせていただきました。もっと自分に自信を持ってこれから邁進していきます。今後も、「仕組み」を変えて「行動」することができたり、女性が輝いていけるような活動を心がけていきたいと思えます。

■目指すリーダーシップ像

土木=力仕事ではなく、女性にもできることがたくさんあります。私は女性が働きやすい職場環境は男性にとっても働きやすいと思っています。トライしてもらえようように安全性・生産性・快適性を向上させ、「建設業の魅力」と「やりがい」を伝えられるようリーダーシップが目標です。



岡田 奈々さん

■所属

マツオカ建機株式会社
本社管理部 仮設機材センター

■みえたま塾に参加して

今まで他社のリーダー層の方とお話する機会はなかったので、非常に刺激を受けました。とても勉強になり、貴重な時間を過ごす事ができました。参加出来て本当によかったと思っています。

■目指すリーダーシップ像

ただ優しいだけでなく、厳しさも持ち、後輩指導に努めます。上司とコミュニケーションを取り、自分の意見もどんどん伝えます。その中で誰からも信頼され、影響力のあるリーダーを目指します。



神谷 愛未さん

■所属

株式会社菜友
スクールランチ事業部
リーダー

■みえたま塾に参加して

リーダーになる人は皆さん【自分の軸】や【これだけのために頑張る!】というものを持っていて、その芯が覚悟に変わり、キャリアアップする事に対する不安感や抵抗感を感じても負けずに進めるのだと感じました。私は自分のブレない芯について何を大切にしていきたいか、考えたいと思いました。

■目指すリーダーシップ像

育児と家庭と仕事を両立させているワーキングマザーとしてのロールモデルになりたいです。若い女性が多く育児休業中や小さい子供がいる人が過半数の会社では、今後ワーキングマザーが役職に付くことも増えていくと考えられます。その人達がキャリアアップを目指せるようなバランスのとれた上司になりたいと思っています。



坂口 綾佳さん

■所属

マツオカ建機株式会社
営業部電算事務グループ

■みえたま塾に参加して

いろんな業種の方がいて、会社のスタイルもさまざまであり、問題点や良い点等、貴重な話を伺うことができました。今後の仕事に繋げていきたいと思えます。

■目指すリーダーシップ像

フォロワーがいなければリーダーは成り立ちません。周りとのコミュニケーションをとり、私にもフォロワーが付いてもらえるように頑張ります。まずは、私自身がリーダーのよきフォロワーになります。



清水 啓子さん

■所属

三重いすゞ自動車株式会社
サービス部サービス課
係長

■みえたま塾に参加して

今までこのような機会はなかなかなく、考えることや、将来ビジョンを持つことの大切さを学びました。もっといろんな人達にも受講してもらいたいと思いました。

■目指すリーダーシップ像

私の目指すリーダーシップ像は、いつも元気で明るく笑顔でいることと、コミュニケーションをうまくとり、チームが丸となるような信頼関係を築くことです。そのために発想力、決断力、行動力を身につけて自分に自信を持ち、責任を持って仕事に取り組めます。



内山 めぐみさん

■所属

株式会社オフィスフルール

■みえたま塾に参加して

日常では触れることのない知事や講師の講演をきっかけに考えることが多々あり、大変有意義な時間となりました。即、実践できるヒントも多く、自分を見つめる良い機会となりました。

■目指すリーダーシップ像

チームとして何を求められ、目指すところは何かを正しく認識する。チームが目標に到達するために、方向性、優先順位をスピード感をもって判断し、メンバーそれぞれが十分に力を発揮できるようにサポートする。改善、反省が必要な場合は率先して自身が行動で示す。常に前向きに笑顔で目標に向かうリーダーでありたい。



加藤 まいさん

■所属

株式会社シー・ティー・ワイ
営業部営業課
リーダー

■みえたま塾に参加して

私の会社だけで起こっている問題だと思っていましたが、他の会社でも同じような問題や悩みを抱えていることを知り、少し気持ちが楽になりました。とても前向きな方が多く、会社の問題をなんとかしたいという気持ちが伝わってきて、私も負けていけないと思わせてくれたことに感謝しています。

■目指すリーダーシップ像

的確な指示とアドバイスができ、一人ひとりの能力を見いだし、発揮させられるリーダーになりたいです。仕事はもちろん、仕事以外でも信頼されるリーダーを目指します。



坂上 陽子さん

■所属

日本土建株式会社
建築部見積調達課
課長代理

■みえたま塾に参加して

一度しかない人生を幸せに生きるためには、強く生きるのが大切。自分の努力で、人生をよくすることができる。今後の人生へのヒントをたくさんいただき、ありがとうございました。今回の経験を生かした日々を過ごしていきたいです。

■目指すリーダーシップ像

共通するものや気持ちを見つけ、寄り添うように相手の立場を想像しながら話を聴ける人。自分と違う意見が出てきたとしても、一度取り入れてみる柔軟性を持ち、いい結果だと思ったら、それを相手に伝えられる人。後ろ向きな発言は、周囲のやる気を奪い、仕事が雑になる危険があるため、周囲に影響が出るような激しい感情や言葉を表に出さない人。



佐来 祐佳さん

■所属

株式会社ケーブルネット鈴鹿
営業部営業課支援グループ

■みえたま塾に参加して

三重で働いている女性がどんな思いを抱いて仕事をしているのかを知る良い機会になりました。自分の仕事に対する考え方も変わり、積極的に物事に取り組み、会社が必要とされる人間になるにはどのようにすればよいか等、考えるようになりました。

■目指すリーダーシップ像

部下から頼られ、すぐに相談を持ち掛けてもらえるようリーダーになりたいと思っています。気遣いができ、部下の小さな変化にも気づけるよう、日ごろのコミュニケーションを大切にしたいです。自分自身の価値観をしっかりとし持ち、誰かの意見にすぐ流されない強い意志を持って業務に取り組めるようになりたいです。



下濱 佳奈さん

■みえたま塾に参加して

どの講座も凄く分かりやすく参考になりました。これからの世の中の流れや、仕組みなど色々な所に思惑があり、その中で暮らしていること。今自分が女性であることが生かせる時代だということ。この機会を頂き、会社の未来のために、自分にできることがまだまだあることが分かり、すごく勇気ももらいました。

■目指すリーダーシップ像

私の目指すリーダー像は、幅広く知識を習得し、物の良し悪しの分別を付け、お客様にも工事に携わる人達にも公平な対応が出来ることです。私の役割は、お客様も含め皆が同じゴールを目指す仲間として、良い時間を共有できるように、それぞれの意識や行動を繋ぐ潤滑油だと思っています。

■所属

有限会社李承
代表取締役



瀬田 萌さん

■みえたま塾に参加して

今後選択肢に迷ったときには、教わった「一度しかない人生を丁寧に生きる」を思い出します。また、自分のコスト意識を肯定的に捉えていなかったのが、女性はそこを磨いたほうが良いとお話は励みになりました。

■目指すリーダーシップ像

憧れるのは、仕事に誇りを持っていて、それを楽しく周りに共有できる人です。そんなリーダーシップ像に近づくために、発言を裏付けることのできる行動をとります。多角的に物事を考えて、人と業績の両方に関心を寄せることが必要だと受講を通して考えるようになりました。

■所属

一般社団法人明和観光
商社



田村 香奈さん

■みえたま塾に参加して

普段なかなか社外の女性の方とお話する機会が無いので、意見交換やグループワークはよい経験になりました。ロールモデルの方が様子をみて話題を振ってくださり、早い段階で参加者の方々とは仲良くなりました。

■目指すリーダーシップ像

女性ならではの気配りを忘れない信頼されるリーダーを目指します。常に化する業務内容や周囲の環境にも柔軟に対応しながら、後輩も巻き込んで会社としての更なるサービス向上に努めます。お客様目線で考えることを第一に、広い視野を養っていききたいと思います。

■所属

マツオカ建機株式会社
海外・環境事業部



出口 さくらさん

■みえたま塾に参加して

どの講義も非常に勉強になり、また参加者やロールモデルの皆様と話し合った時間は、大変有意義なものでした。社内で提案する方法やチームで働くために大切なコミュニケーションなど、多くの事を学ばせて頂きました。みえたま塾が終わっても、またいつか自分自身がロールモデルとして戻ってこれるように学び続けたいです。

■目指すリーダーシップ像

誰でも目指しやすい女性リーダーのモデルになりたいです。多く残業して男性社員より仕事が出来ない人ではないと女性はリーダーになれないというイメージを払拭するため、互いに助け合うチームづくりをしながら、個人が仕事を抱え込まず、効率的に進めていける環境にしていきたいです。

■所属

エイベックス株式会社
総務経理部門



永井 茜さん

■みえたま塾に参加して

はじめは不安でしたが、活躍されている女性の方の講義が聞けて、今後自分がどのようにキャリアアップしていくかを真剣に考える良い機会を頂きました。また、他の企業のみなさんとの交流を通じて、同じ悩みや問題を持っているということもわかり、とても良い刺激になりました。

■目指すリーダーシップ像

部下から慕われるリーダー、仕事と家庭（家事や育児）を両立しながら会社に必要とされる人材を目指します。そのリーダーシップ像に近づくために、苦手意識を持たずにいろいろな事にチャレンジしてキャリアアップしていきたいです。

■所属

株式会社マスマ
総務本部チーム



中根 真咲子さん

■みえたま塾に参加して

私は同年代の中では人より多くのセミナーや講義に参加させてもらってききましたが、その中でも特にみえたま塾は勉強になりました。受講生の目指すところをコレ！と一つに絞るのではなく、目指すベクトルの方向はそろえつつ、様々な手段・成長過程があるのだと知ることができ、自分の世界が広がりました。

■目指すリーダーシップ像

「かゆいところに手が届くリーダー」が私の目指すリーダーシップ像です。「上と下とを結び役」として上司・部下それぞれの「こうだったらいいな」を形や言葉にすることが理想と考えます。相手が求めることを知るためには、まずは相手を知ることから。違う意見の相手を認められる人になってこそ、気配りができるリーダーになれると思っています。

■所属

株式会社リョーケン
建設事業部業務管理課



中野 美智代さん

■みえたま塾に参加して

期間がかなり短かったのですが、半年～1年サイクルで挑んでも良かったように感じました。受講生同士もう少し踏み込んで、皆さんと勉強したいと思いました。女性の活躍が進むかどうかは女性にもかかってきます。周囲を上手に巻き込みながらお手本を見せられるようになりたいと思います。

■目指すリーダーシップ像

聴く力、気づく力、指示力、行動力、決断力、問題解決力、責任感、説得力のある、厳しくもあたたかいお母さんのようなリーダーを目指します。欲張りでしたが、理想は高く参ります！

■所属

井村屋グループ株式会社
総務・人事部 課長代理



早川 はる美さん

■みえたま塾に参加して

毎回講演者のお話が身に沁みました。初回講座の出口治明さんの「数字、事実、論理」は事あるごとに思い出しています。2回目、3回目とも、今まで自分になかったものをインプットできたので、新たな視点でアウトプットし職務にとり入れていきます。

■目指すリーダーシップ像

部下をまとめ、部下のやるべきことを明確に伝え、助言ができる女性リーダーです。そのためには、リーダーは、チームに目標と各自が何をすべきかを伝え、チーム全員のスキルを高めながらまとめていくことが重要だと思います。

■所属

TOYO TIRE 株式会社
桑名工場 総務課



樋口 茜さん

■所属

マツオカ建機株式会社
営業部
お客様サポートグループ

■みえたま塾に参加して

みなさんのコミュニケーション能力が高く積極的で、自分にはないものをたくさんもっている方々でしたので、とても勉強になりました。私は集団の中で自分から行動する積極性が欠けているなど痛感しました。もっと自信をもち、失敗を恐れずに行動しようと思います。

■目指すリーダーシップ像

自分から率先して行動をする積極性のあるリーダーを目指します。継続するのも大事なことです。新たなことを取り入れ挑戦するのも会社にとって必要なことだと思います。言われたからではなく自分で考え、指示のできる存在になりたいです。また、後輩が困っていたり何か問題があった時にすぐに気が付き、対応ができるように、周りを見る余裕もあると良いと思います。



樋口 智美さん

■所属

株式会社オフィスフルール

■みえたま塾に参加して

3日間を通して、どの講義からも気づきや新たな学びがあり、即実務に移すことで自分自身の成長に活かせると感じました。また、ワークショップでは、他の会社のリーダーやロールモデルの方の意見に刺激を受け、自分が目指すリーダー像の参考になりました。

■目指すリーダーシップ像

目指すリーダー像は、前に立って引っ張るというよりも、みんなと一緒に！横にいるイメージです。コミュニケーションにより、仲間の意見を吸い上げ、上司に伝える調整役となり、会社の雰囲気作りや個人の士気を上げていきます。自分自身の仕事の質を上げ、時間管理と相手目線の提案や報告ができるよう意識します。



深田 和恵さん

■所属

三重テレビ放送株式会社
編成業務局編成部副部長
兼 コンテンツビジネス
本部報道制作局報道制作
部副部長

■みえたま塾に参加して

20代から50代の幅広い年代の女性は、考え方も話し方も異なり、刺激的な場でした。若い参加者の忌憚のない意見が聞けたことは、私にとってかなりプラスとなりました。

■目指すリーダーシップ像

社会で、男性に育てられてきた女性がリーダーになる時、課題は山積です。男性と肩を並べて仕事するには何倍もの努力が必要ですが、困った時には「助けて欲しい」と素直に言える職場環境を作り上げたいと思っています。知識と自信、業績と給与が上げられるリーダーを目指し、働きやすく面白い三重テレビを作ります！



藤川 江莉奈さん

■所属

万協製薬株式会社
製造部生産技術課
サブリーダー

■みえたま塾に参加して

今回、ロールモデルという存在を初めて知り、三重県にこんなにもすごい方がいることに驚かされました。ロールモデルの努力に比べれば、私の悩みはまだ小さく行動にも移しきれていないので、負けていけないと思えました。多くの皆さんの話が聞けて活力につながりました。

■目指すリーダーシップ像

どんな時でもお互い(上司と部下)を尊重し、助け合いができる関係を築いていきたいです。リーダーはメンバーの上に立つのではなく、一歩下がってチームを見て、気づくことが大切だと考えます。周りと同等の立場に立つことで、その人に合った適切な仕事を与えられるとともに、自分の視野を広げていきたいです。



前川 郁さん

■所属

株式会社フジ技研
総務部総務課 係長

■みえたま塾に参加して

どの講座もとても内容がよく、普段会社にはなかなか聞けないお話ばかりで貴重な経験になりました。自分はもっと外へ出て世間を広げないといけないと思いました。

■目指すリーダーシップ像

人の話をしっかり聞き、自分の心に対しても耳を傾けられるような傾聴力のあるリーダーシップを目指します。絶対に相手を尊重し、話に耳を傾ける。最後まで聞き自分の意見も伝える。そうすることで得られる気づきや共感を大切に信頼関係を築いていけたらと思います。



前野 有紀さん

■所属

株式会社光機械製作所
総務グループ

■みえたま塾に参加して

今回参加させていただき、多くのロールモデルや先生方の話を聞いて、自分のキャリアやリーダーになる意義を学び、キャリアアップを前向きに考えられるようになりました。今回学んだことを社内の若手の研修などでも伝えていきます。

■目指すリーダーシップ像

「欲張れるリーダー～チャンスがあれば、何でもする！周りを巻き込み成果を出す！～」今回の学びを通し、管理職になる自信はまだなくても、チャンスがあれば覚悟を持ってやってみるべきだと思うようになりました。まずは、そのための第一歩として立派な部下を目指します。



栞田 あゆ美さん

■所属

株式会社シー・ティー・ワイ
コールセンター

■みえたま塾に参加して

自分がどのようなリーダーを目指すのか、どういった存在でありたいのか考えながら、働くことの大切さも同時に学ぶことができました。また、受講生のみなさんと、会社の問題や今後どうしていきたいのかについて話し、様々な考え方に触れることで、自分の視野を広げることができました。

■目指すリーダーシップ像

働くうえで、思いやりのある行動が一番大切だと考えます。信頼できる身近なリーダーになるため、思いやりのあるチーム作りをし、女性が働きやすい職場を作りたいです。社内の女性リーダーからリーダーとしてのスキルを学び、そしてみえたま塾で今回学ばせていただいたことを将来の自分に生かしていけるように、一日一日を大切に頑張ります。



峯川 咲希さん

■所属

万協製薬株式会社
製造部生産管理課
リーダー

■みえたま塾に参加して

様々な企業の方と交流でき、楽しく勉強させていただきました。お互い悩んでいる内容を聞くと、自社のよい部分が見えたり、さらに改善できるのでと思う部分があったり、異なった業種の方の意見も参考になりました。グループワークでの勉強は大変楽しかったです。

■目指すリーダーシップ像

視野を広く持ち、女性ならではの気遣いができるリーダーを目指します。円滑なコミュニケーションがとれ、明るい雰囲気の仕事ができること。常に変わっていくことを恐れず、各自が、自ら発信・発言できる環境づくりを行うことが私の目指すリーダーシップです。自らチャレンジしていく気持ちを忘れず、みんなと共に成長し続けたいです。